『 日に新たに 』

令和８年度　校長室便り
（１１月１１日）（第１６号）



「第79回文化祭」











１１月７日（土）「Passion～一人一人の花を咲かせ」のテーマのもと、「第79回垂水高校文化祭」が盛大に開催されました。土曜日にもかかわらず、多くの保護者や地域の方々にご来場いただき、一日中大盛況でした。

久しぶりの学校開催ということで、昨年度までのノウハウが使えず、苦労も多かったとは思いますが、２週間という短い期間で見事に完遂させ、垂水高校の文化的側面を地域に十分に発信できたと思います。

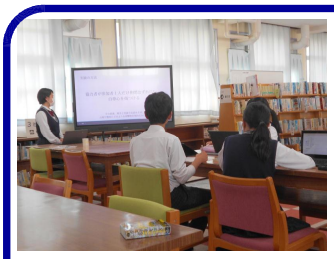
体育祭もそうでしたが、少ない人数のために、クラスや部活動、委員会、学科の出し物から当日の裏方の仕事に至るまで、一人で何役も役割を果たさなければならず、生徒の皆さんは大忙しの一日だったと思います。

でも役割が人を大きく成長させます。今回も自分の役割をやりきったことで達成感を得て、大きな自信につながったのではないでしょうか。

展示では笑顔で観客を迎え入れ、ステージでは堂々と発表する姿は非常に爽やかで、見ている側が明日につながる元気と勇気をもらえました。

一人一人の咲いた花で、文化祭という大きな花畑が完成した一日になりました。

「新書プレゼン」



１１月６日（金）３年１組の国語の授業（生徒による「新書プレゼン」）に参加しました。

４人の生徒が、自分で新書を読んで疑問に抱いたことをさらに掘り下げて考察し、発表しました。

選んだが本が「友だち幻想」「一億総ツッコミ」「りんごが教えてくれたこと」「初めての公共訴訟」とジャンルは異なりましたが、人間関係に興味を抱いた人が多かった気がします。今回の発表で「フィランソロピー」という言葉を初めて知りました。

「なぜ人は攻撃することで自分を守ろうとするのか？」について考察した生徒に、「その傾向の強い人とうまく付き合うにはどうすればよいのか？」と質問したところ、「まずは自分の弱い部分を相手にさらけ出します」という回答がきた時には、なるほどと感心してしまいました。大学の授業にもつながる取組で大変意義深く感じました。ぜひ続けてください。

「大隅地区専門高校産業フェスタ」







１０月２１日（水）尚志館高校にて「令和８年度大隅地区専門高校フェスタ」が開催されました。このフェスタは、専門高校が展示や発表等をとおして、農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉・総合学科の魅力を見学に来られる方々に発信するもので、毎年県内５地区で開催されています。

体育館では各学校の魅力を伝えるブースが設けられ、事業所等の紹介を行う「事業所ブース」も開設されていました。本校からは、１・２年生の生活デザイン科の代表生徒８名が参加し、見学に来た中学生に「くるみボタン（包みボタン）」製作を通して家庭科の魅力を伝えてくれました。私も作らせてもらいました。

案内されて教室に入ってくる中学生に対して、鹿屋中央高校の調理コースの生徒たちと交互に説明するわけですが、回数を重ねるにつれて要領をつかんだようです。終わって出て行く中学生もお好みの「くるみボタン」を製作できて満足の様子でした。本校の良いアピールができたと思います。

８名の皆さん一日ご苦労様でした。

「株式会社ナガセ」訪問



１０月２７日（水）垂水高生に対して格安で「東進通信講座」をご提供いただいている「株式会社ナガセ」の永瀬昭幸様にお礼のご挨拶と生徒の現在の進路・学習状況の報告に行ってきました。

東進ハイスクール（株式会社ナガセ）の本社を訪問するのは初めてで緊張もしましたが、夏休みの講座で１年生にご講演をいただいた松下安伝様と永瀬会長に温かく迎えていただきました。

永瀬会長は垂水市のご出身で、お父様が垂水高校で勤務されたご縁もあり、垂水高生に毎年多くの支援をしていただいています。本当にありがたい限りです。

今後も事業を拡大するご予定もあり、その一部を説明していただきました。約１時間お話を伺いましたが、教育にかける永瀬会長の情熱に圧倒されてしまいました。「どこにいても努力はできる。垂水高生頑張れ！」というエールをいただきました。

「垂水市民文化祭」



１１月１日（日）垂水市文化会館で行われた「垂水市市民文化祭」の「ファッションショー」に生活デザイン科の２・３年生１３名が参加しました。

授業の中で自分たちが製作した衣装を身にまとい、颯爽と歩く姿は圧巻でした。私は初めて拝見して感激しましたが、会場からも「きれい！」という声があちこちから漏れていました。７日（土）の文化祭が大変楽しみになりました。